

山羊の冬期飼料用に！耕作放棄地の雑草を有効活用！

# ドラムで雑草サイレージを作ってみませんか

サイレージは牧草を乳酸発酵させた「牧草の漬け物」です。保存性が良いため家畜の冬期飼料に適しています。家畜改良センター長野支場では、耕作放棄地の雑草を用いてサイレージの作成を行っています。ここでは、プラスチックドラムを使った簡易的な方法についてご紹介します。

## ●用意するもの●

- ・プラスチックドラム(120リットル)
  - ・ビニール袋(厚いもの、大)
  - ・ひも(トワインなどビニール袋の口を縛るもの)
- ※プラスチックドラムの代わりにドラム缶や漬け物樽などを利用することができます。



## 1. 草を刈る



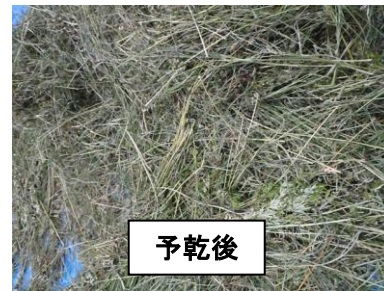
刈り払い機で草を刈ります。できるだけ土砂が草に混ざらないように注意します。土砂が混ざると発酵が悪く、良質なサイレージができません。

長野県立科町の耕作放棄地にてカヤ類(40%)、ヨモギ(35%)、ヒメジヨソ(10%)、オーチャードグラス(10%)、シロクローバー(5%)の雑草を利用しました。

## 2. 軽く乾かす



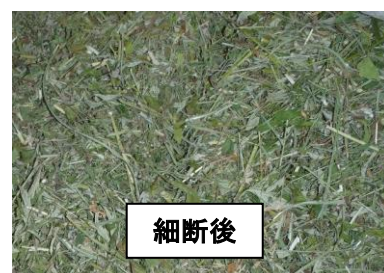
良質な発酵を促すため、丸1日天日干しにします。(水分60%程度になるように。)



## 3. 細断する



押切や細断機で長さ5cm程度になるように細断します。細断により詰込時に空気が入りやすくなります。



#### 4. ドラムに詰め込む



**ポイント 空気を抜いて  
密閉状態をつくること！**

プラスチックドラムの中にビニール袋を広げ、細断した草を入れては上から踏み込みを繰り返す、できるだけ空気を抜きながら草を詰めていきます。ドラムがいっぱいになったら、袋の口をひもで固く縛り密封し、ドラムに蓋をします。

#### 5. 1ヶ月以上日陰に置く

#### 6. できあがり



120リットルのドラムで25kgの雑草サイレージが完成しました。甘酸っぱい香りで山羊の嗜好性も良好でした。

サイレージは臭いが強く、初めは嗜好性が悪いことがあります。次第に慣れていきますので、継続的に与えてみて下さい。

発酵がうまくすすみ、品質の良いサイレージは甘酸っぱい臭いがし、さらっとしています。

粘々するもの、悪臭がしたり、カビが生えているものは失敗なので廃棄して下さい。

サイレージは、開封すると腐敗がすすむので、できるだけ早く与えます。

草が潤沢な時期に作成し、青草がなく開封後も腐敗しにくい冬期に与えるのをおすすめします。



「ドラムで雑草サイレージ」について問い合わせ先

(独)家畜改良センター長野支場 種苗業務課

〒385-0007 長野県佐久市新子田 2029-1 TEL0267-67-2501 FAX0267-68-4743

HP: <http://www.nlbc.go.jp/nagano/> E-mail: [nlbc\\_nagano@nlbc.go.jp](mailto:nlbc_nagano@nlbc.go.jp)